



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

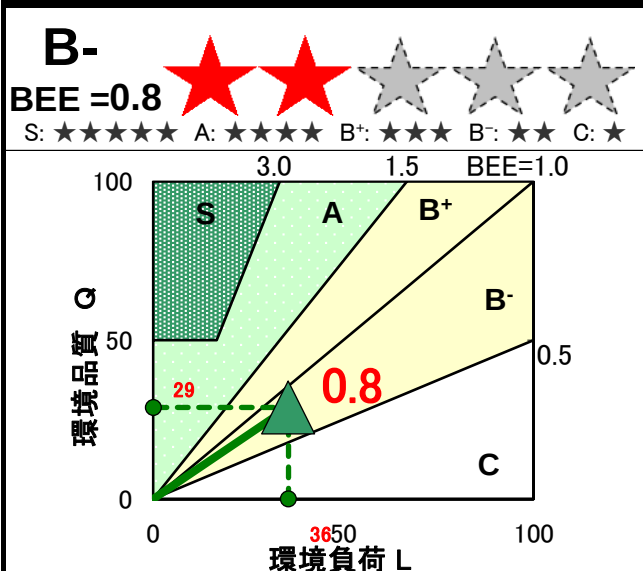
1-1 建物概要

建物名称	SPK株式会社 近畿営業所		
建設地	北区大淀中3丁目		
建築用途	倉庫		
建築主			
設計者			
敷地面積	882.49	m ²	
建築面積	617.50	m ²	
延床面積	2,564.57	m ²	
構造/階数	S造	/	地上5階
完了年(予定)	2021年8月		

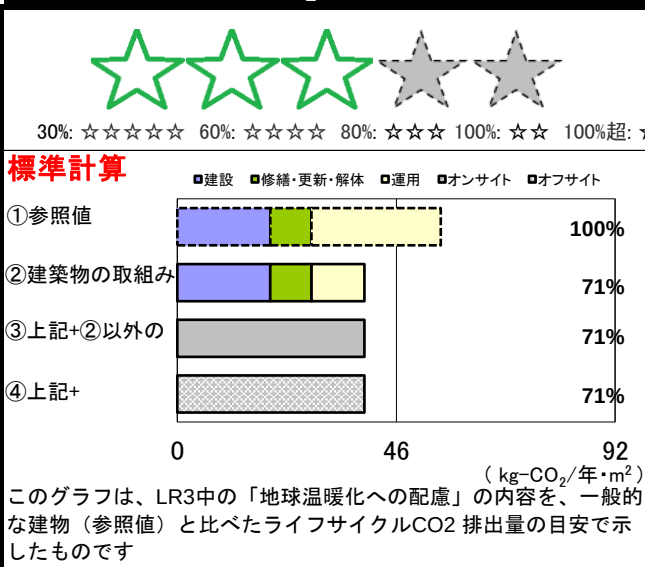
1-2 外観



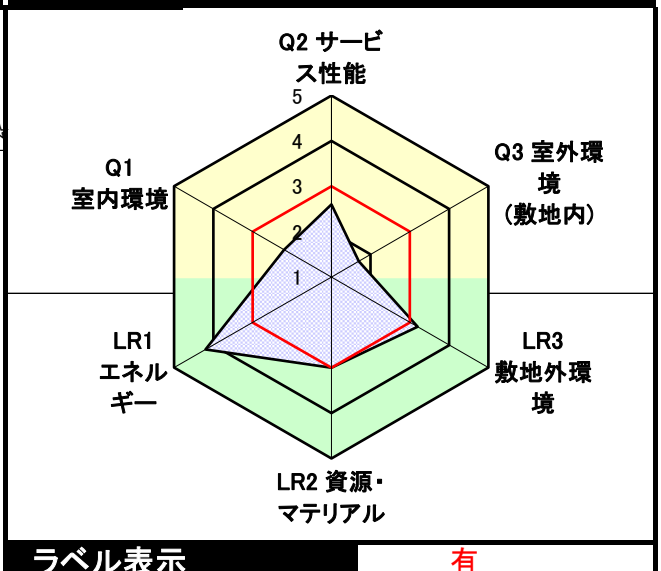
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



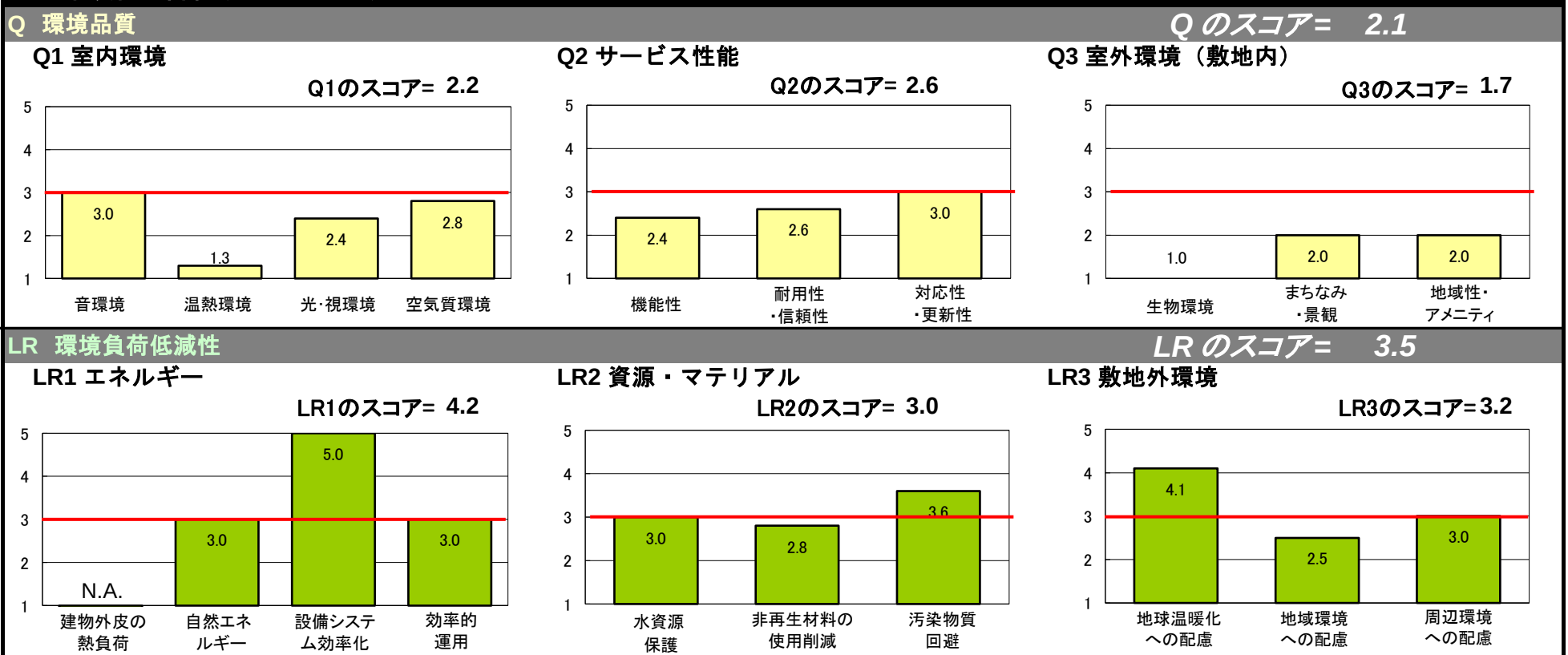
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
窓を多く設けるなど外観を工夫し、街並みとの整合をはかるように配慮している。 道路沿いに植栽を配し景観の向上に努める。	特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
事務所の窓を大きくし室内を明るくする。	事務所床はOAフロアを採用している天井高さを2.8mと高めに設定している。
Q3 室外環境 (敷地内)	駐車場と道路間に植え込みを設け視線を遮っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
屋上に太陽光パネルも設置し、自家用補助電力とする。	節水器具を使用する。
LR3 敷地外環境	外壁、窓ガラスは反射材料を用いなくて、落ち着いた色調とする。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.1
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		0.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	0.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	太陽光パネルを設置する	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	- (相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.41	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.41

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 19 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ） m</td> <td>水平距離（約 ） m</td> </tr> </table>	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m	方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
方位	（ ）	高さ（約 ） m	水平距離（約 ） m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 264.2 ） m ² 方位（ 南 ） 設置角度（ 1.72 ） 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 105.6 ） m ²
ウ 設置可能容量	（ 14.5 ） kw
エ 利用設備に対する荷重対策	☒ あり ☐ なし
オ 設置に備えた対応	☐ なし ☒ あり （例：設備用基礎の設置） （折板屋根にパネル架台が取付け可能 ）

④ 導入判断

検討結果 ☒ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☐ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他 （ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ 25.7 ） m ²
イ 発電容量	（ 5.0 ） kW

備考

発電量は自家用照明設備に使用する電力量のみを想定している（蓄電設備なし）

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

1 設備導入の検討

② 日照条件の検討

[illegible]

ア 建築物の用途	倉庫
イ 熱需要対象用途	☒ 冷房 ☒ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	(105.6) m ²
エ 概算年間熱利用量	(229,891) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり (例：設備用基礎の設置) ()

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

■ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

☐ 日照が確保できない

☐ 年間を通じて安定した熱需要がない

☐ 躯体が荷重に対応できていない

☐ 敷地内に設置する場所を確保できない

☒ 費用負担が大きい

☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする

☐ その他（ ）

ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他 ()

備考